

- 日米安保条約の廃棄、米軍基地撤去
- 自衛隊の海外派兵反対
- 独立・平和・非同盟の日本を

安保廃棄

沖縄・名護市長選挙勝利で

「辺野古」止め、軍拡政権に痛打を



名護市での「集い」で激励を受けるおながクミコさん (11月24日)

1月25日に沖縄県の名護市長選挙がおこなわれます。普天間基地の県内移設の断念などを求める「オール沖縄」からおながクミコさん(前名護市議)が予定

候補として、勝利に向け運動を全力で展開しています。

おながクミコさんが

候補として、勝利に向け運動を全力で展開しています。2014年から始まりましたが、2024年度末時点での進捗率はわずか16%程度にとどまり、今年2月に始まった地盤改良工事も天候やメンテナンスを理由に6か月以上も中断、完成のめどは全く立っていません。

今回の名護市長選挙でおながクミコさんが勝利すれば、辺野古新基地建設をストップさせる大きな力を取り戻すことができます。また、この選挙は、「戦争する国」に突き進む高市政権へ、平和を願う沖縄県民の声を突き付け、「台湾有事」を口実に進められる沖縄の戦場化を止める流れをつくり出す大きな一歩となる選挙です。

私は昨年10月に選挙委員会のみなさんに選ばれて市長候補に推薦をいただきました。名護市長選挙というたら、名護だけのたたかいではないですね。それは沖縄全体で、そして日本全体で考えてほしいこと。やっぱり辺野古の基地問題については、私が議員になってからずっと辺野古反対の決意を貫いてまいりました。これからの姿勢は変わりませ

ん。それと同時にいま、物価高騰で悩んでいらっしゃる市民のみなさま。つしやる市民のみなさま。つて下さい。送付先郵便振替口座 0171008162723 名義・沖縄県統一連動などに参加してください。

◇選挙支援カンパを送る

◇名護市在住の知人に、おながクミコさんへの支持を訴えてください。

◇連絡先 沖縄県統一連名護事務所 〒905-0016 名護市大東1丁目7-13 電話0800-6498-7235

勝利するためには、全国からの力を総結集しなければなりません。

安破棄中央実行委員会と沖縄県統一連動などに参加してください。

名護市在住の知人に、おながクミコさんへの支持を訴えてください。

選挙支援カンパを送る

名護市在住の知人に、おながクミコさんへの支持を訴えてください。

連絡先 沖縄県統一連名護事務所

選挙支援カンパを送る

昨年11月29日に名護市で開かれた沖縄県統一連・安保中央・革新懇主催の集会でおながクミコさんのあいさつ(要旨)。



私は昨年10月に選挙委員会のみなさんに選ばれて市長候補に推薦をいただきました。

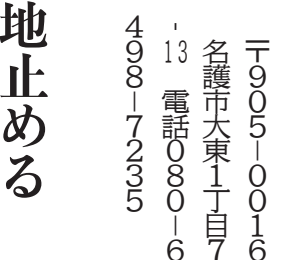
名護市長選挙というたら、名護だけのたたかいではないですね。

それは沖縄全体で、そして日本全体で考えてほしいこと。

やっぱり辺野古の基地問題については、私が議員になってからずっと辺野古反対の決意を貫いてまいりました。

これからの姿勢は変わりません。それと同時にいま、物価高騰で悩んでいらっしゃる市民のみなさま。つしやる市民のみなさま。つて下さい。

戦争か平和かの分岐点、憲法を力に全力で頑張る



あけましておめでと。昨年末、「原子力空母反対横須賀集会」に参加した。米軍基地の集中する神奈川県でも、沖縄と同じような米軍による事件事故が多発していることを改めて実感した。日米安保体制を打破するため

市長選に立候補予定のおながクミコさんは、辺野古の工事を阻止するために寝袋でゲート前に泊まり込み、

いま戦争か平和かの分岐点に立たされていることを実感している。昨年当選した与那国の上地町長は保守系

の立場だが、「東京の皆さんが得る情報と、ここに住んでいる我々の肌感覚は違う。我々には有事があるとは全然思っていない」と軍事力強化一辺倒の議論を諫めている。これ以上の軍拡を拒否し、米軍の攻撃ミサイルハイマースの持ち込みも断念させた。

戦争の惨禍と反省の次から生まれたのが憲法9条だ。二度と同じ過ちを繰り返させないために、憲法を力に全力で頑張りたい。

「戦争国家」から「平和国家」への前進を切り守りましょう。

新年おめでとうございます。高市政権への暴走を止め、市民のみなさまのために活動しましょう。

安保破棄中央実行委員会

今年、9月に沖縄県知事選挙、前後して衆議院解散総選挙も予想されます。玉城デニー県政がめざす「平和で誇りある豊かな沖縄」を継続させ、軍拡・改憲を再び戦場にさせない政治を、ともに世を去った家永さんを想起しつつ、決意新たに新年を迎えよう。

朝日新聞が連載している「百年 未来への歴史」の12月19日付に1960年安保闘争がとり上げられている。歴史学者で教科書訴訟の原告としても知られる家永三郎さんは1960年6月23日付「朝日」夕刊の声欄で次のように述べている。「民主主義を踏みしめた措置に、何ら是正の手が打たれないままに、安保条約が批准の日を迎えようとしている」「たとえ権力が私たちの叫びを押しつぶしたとしても、長い歴史の前に一時の勝敗が何であろう。私たちは今日こそ平和と民主主義を守り抜く決意を新たにしようではないか」と。そして、

「平和で誇りある豊かな沖縄」を継続させ、軍拡・改憲を再び戦場にさせない政治を、ともに世を去った家永さんを想起しつつ、決意新たに新年を迎えよう。

朝日新聞が連載している「百年 未来への歴史」の12月19日付に1960年安保闘争がとり上げられている。歴史学者で教科書訴訟の原告としても知られる家永三郎さんは1960年6月23日付「朝日」夕刊の声欄で次のように述べている。「民主主義を踏みしめた措置に、何ら是正の手が打たれないままに、安保条約が批准の日を迎えようとしている」「たとえ権力が私たちの叫びを押しつぶしたとしても、長い歴史の前に一時の勝敗が何であろう。私たちは今日こそ平和と民主主義を守り抜く決意を新たにしようではないか」と。そして、

沖縄たたかいの現場から

瀬長 和男
沖縄県統一連事務局長

129

パフォーマンスの土砂投入も停止 おながさん勝利で工事を止める

11月28日、沖縄防衛局は大浦湾側に完成したN・1、N・2、N・8の中仕切り護岸で囲われた区域に埋立て土砂を投入し、「大浦湾で本格的な土砂投入が始まった」と、マスコミを使って大々的に報道させました。

突然の「11月中に土砂投入」という発表は、政権中枢が政治判断にたががけられるだけでなく、停滞が続いていたオール沖縄勢力を再び拡大させる力となり、秋の県知事選挙勝利の展望が高まりました。また、政権丸抱えの選挙を行った高市政権を追い詰め、憲法改正や衆院定数削減などの企みを跳ね返す力にも繋がります。



名護市内で宣伝する安保・革新懇の沖縄行動参加者（11月29日）

より、名護市長選挙で現職市長への援護射撃として行ったもので、現場の沖縄防衛局の工程表を無視したものであったと考えています。

70坪仕様に改造したサンドコンパクション(SCP)船を、なぜか地盤改良の必要のないN・8護岸に接岸させ、北側のN・1護岸には大型クレーンを2機配置し、対岸の瀬長から、あるいは私たちが座り込みを続ける工事用ゲート周辺から「見えないよう」に配置したのではないかと疑いたくなるような重機類の「壁」の中で土砂投入が開始されました。空中から撮影された映像だけが、その日のニュース番組等で流されていました。

それからの週間以上が経過した12月15日現在、SCP船を使った砂杭打設は再開されず、大々的に報道させていた「本格的な土砂投入」も、あろうことか11月29日以降、止まったままです。

安保・全国革新懇が沖縄行動

名護市長選勝利へ集会

安保破棄中央実行委員会は全国革新懇と共に、11月28日から30日の3日間、「辺野古新基地工事中止・名護市長選挙勝利」沖縄行動をおこないました。



名護市での市長選勝利の集い（11月29日）

名護市長選へ決起集会

愛知 愛知 愛知 愛知 愛知

安保廃棄愛知県実行委員会は12月12日、名古屋市内で名護市長選挙決起集会を開催。30人が参加し、辺野古新基地建設ストップ、市長選挙勝利への決意をともにしました。

設反対は揺るがない、基地交付金額までなく、市民の生活を守るまちづくりを有識者の力も借りて考えていきたい」と力強い決意が語られ、参加者の大きな拍手が沸きました。

11月29日午後、名護市の大北公民館で、沖縄県統一連、安保破棄中央実行委員会、全国革新懇の主催で約60人が参加して「辺野古新基地工事中止・普天間基地無条件返還 名護市長選挙勝利に向けた集い」が開催されました。

「集い」には、おながクミコ予定候補、稲嶺進前名護市長（おながクミコ後援会長）、山里将雄沖縄県議も参加。おながクミコさんから「辺野古新基地建

降工事は中断し再開されていない、このペースでは11年かかり、16%の工事進捗に対し、

告。こうした市民の声を、最後の最後までに耳を貸さない市政を転換するため、なんとか分断を乗り越えて市長選挙で勝利した

平和と沖縄を考える集い

林氏が講演、瀬長氏が報告

12月13日、安保破棄中央実行委員会と栃木県実行委員会と栃木県平和委員会が宇都宮市内で「平和と沖縄を考えるつどい」を開催しました。



平和と沖縄を考える集い（12月13日）

い、最後の最後まで市政権の重たさを止める大きな力になると強調。「軍事費だけが膨れ上がり、くらしが切り捨てられ危機的状況に苦しむ人が増えている。新しい共同がつくり出せるし、必要だ」と述べました。

沖繩県統一連の瀬長和男事務局長がオンラインで参加し、現地の建設工事状況について報告。「11月28日に本格的な土砂の投入開始と報道されたが、12月になって止まっている。軟弱地盤の改良工事は半年も止まっている」「名護市長選挙の結果次第では工事は止められる。政権丸抱えの現職を交代させるために沖縄が一体にならなければならない」と述べ、全国からの支援を訴えました。

技術的にも完成の見通しが無い」と指摘。来年1月の名護市長選挙で、おながクミコ氏が勝利すれば平和と沖縄を考える集い（12月13日）

オンラインで全国を結んで「命どう守る！」「辺野古」から考える私たちのくらしと平和—沖縄連帯集会—を開きました。

1月の名護市長選挙予定候補のおながクミコさんが「辺野古新基地を止め、市民・子どもたちのために平和を守る」と決意を述べました。

全日本民医連副会長 沖繩医療生活協同組合理事長の上原昌義さん

沖繩民医連と全日本民医連は12月11日、オ

沖繩民医連・全日本民医連

オンライン沖繩連帯集会

おながクミコさんが訴え

集会には全国の164人が参加しました。



空母母港化反対横須賀集会 (12月7日)

空母もミサイルもいない 横須賀 空母母港化反対集会

原子力空母母港化反対集会が12月7日、横須賀市のヴェルニ公園で催された。小泉防衛大臣の地元横須賀は、米原子力空母の母港化に加え、自衛隊で敵基地攻撃を可能とする「空母いずも」とあわせ母港2隻体制になった上に、自衛隊のトマホークや長距離ミサイル配備など文字通り日米同盟の大拠点化が進められていま

す。集会では、日本共産党の赤嶺政賢衆院議員から、国会報告と合わせ沖繩のたまたかいが報告されました。集会後、基地ゲート前を通り、市街地を原子力空母は原発を二つ積んでいるのと同じ「撤回を求める署名に取り組んでいる」「トマホークアクション2025」から80を超える賛同団体が3万筆を達成したと報告、厚木オスプレイ飛行反対連絡会や横浜ノース・ドック反対連絡会からも報告がありました。

「アメリカ言いなり」政治と
今日の「日米同盟」
小泉親司
安保破棄中央実行委員会常任幹事

12月17日、高市早苗内閣は、はじめての予算案となる2025年度補正予算を強行しました。補正予算には、防衛費8472億円が盛り込まれ、これによって防衛費は、対米誓約であるGDP2%目標を達成する大軍拡となりました。高市政権が「安保3文書」の前倒しによって強行したものです。

高市首相の「自主的軍拡は破綻の道」も、国民負担増での軍拡は破綻の道。高市首相の「自主的軍拡は破綻の道」も、国民負担増での軍拡は破綻の道。高市首相の「自主的軍拡は破綻の道」も、国民負担増での軍拡は破綻の道。

東京・米軍横田基地で パラシュートが児童館に落下

共産党など防衛省ヒアリング

11月20日に東京の米軍横田基地で訓練中、パラシュートが福生市熊川児童館敷地内に落下する事故が発生しました。この事故は米軍からの情報提供がなく、12月1日に児童館職員が部品の一部を見つけたことで明らかになったものです。

さらに事故当日の夜、米兵が市の許可なく市施設の児童館敷地内に侵入しパラシュートを回収した重大事実も明らかになりました。この事故に先立つ11月18日にも米軍兵士が羽村市の民家に落下する事故が発生し、周

員、市民団体が参加。この事故について、日本共産党国会議員による防衛省に対する聞き取りが12月12日におこなわれ、山添拓参議院議員、関係自治体議員、市民団体が参加。この事故について、山添議員は、「再発防止」を言いながら第2の事故を起し、勝手に落下物を回収し、訓練の中止を求めるべきだ」と述べました。

基地情報

災害対処の名で 3か国軍事訓練

11月17日の産経新聞1面に、「南海トラフ想定 大規模訓練」との見出しで紙面半分を使った記事が掲載されました。

一見、大規模災害対処訓練の記事ですが、実態は、「防衛省統合幕僚幹部2025年10月31日付」で公表された「令和7年度日米豪共同離島等統合防災訓練」で、東京都等が実施した「令和7年東京

この訓練には、自衛隊統合戦術司令部が指揮をとり、陸海空自衛隊と米豪軍と共同する上陸訓練でした。要するに、多国間共同訓練を「防災訓練」としたものでした。新聞に掲載された写真は新島村の職員が撮影したものです。とくに航空自衛隊は、基地防衛の任務を持つ警備犬まで参加させています。また、新島の東側の海域には米軍が設定した訓練海空域があり、現在、日米共同開発が進んでいるミサイルの試射も予定されています。(紙谷敏弘・安保千葉)

「自主的判断」
実は米国の圧力
高市首相は、政権就任直後の日米首脳会談



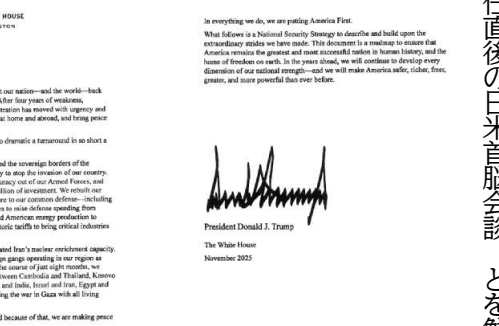
統合幕僚監部 報道発表資料
JOINT STAFF PRESS RELEASE
令和7年10月31日
統合幕僚監部
令和7年度日米豪共同離島等統合防災訓練の実施について
自衛隊は、下記のとおり「令和7年度東京都・新島村合同総合防災訓練」し、令和7年度日米豪共同離島等統合防災訓練を実施し、本訓練を通じての更なる実効性の向上を図り、国民の安心・安全に寄与してまいります。

1 目的
国内の離島及び孤立地域となることが予想される地域における防災・災害への対応について、在日米軍及び豪軍との共同訓練を実施し、より迅速な災害対応能力の維持及び向上を図るとともに、地方自治体等との連携強化を図る。

2 主要訓練項目
(1) 被害情報収集
(2) 部隊展開
(3) 救出活動
(4) 緊急支援物資輸送
(5) 日米豪の連携

3 時期
令和7年11月15日(土)(予行 同年11月)

4 場所
東京都新島村(新島及び及び島)、埼玉県海空城並にこれらと結ぶ経路



「自主的判断」
実は米国の圧力
高市首相は、政権就任直後の日米首脳会談

「自主的判断」
実は米国の圧力
高市首相は、政権就任直後の日米首脳会談

